

一般社団法人日本 WPA 第 8 期（平成 29 年度）事業活動方針

日本 WPA の使命は、①水なし印刷、バタフライロゴの普及、②水なし印刷に関する技術、経営情報の共有化、③会員相互の交流である。これらの使命を全うするために、現時点での最重要課題は、日本 WPA の基盤をより強化することである。

1. 個別新規事業活動方針

水なし印刷、バタフライロゴを普及させるため、以下の新規事業を実施する。

(1) 省電力 UV インキの NONVOC ロゴを印刷業界の統一マークとして普及させ、省電力 UV 印刷の環境優位性を訴求し、クライアントからの認知を獲得する。

ロゴ製作費、商標登録費、ダウンロード用ページの作成費等を予算に計上。

(2) 日本 WPA のプロモーションビデオを、積立金を充当して制作。

内容は、2 部構成とし、印刷会社向け及び一般（クライアント）向けとし、各々 2 分程度としている。

印刷会社向けには、収益性の向上、人材育成の短期化、品質の安定などを訴求し、一般クライアント向けには、環境優位性、高品質な印刷を訴求する内容となっている。

(3) バタフライロゴのシールの制作

印刷物の梱包材、段ボールなどの外面に張り付け、クライアントが開梱する際に、バタフライロゴのシールは自然と目に付くことを想定している。

(4) エコプロ 2017 展への出展

エコプロ展は、毎年 12 月に開催され 17 万人の来場者のある「環境とエネルギーの未来」をテーマにした大規模展示会であり、毎年出展をしている。今期は、今まで以上に費用対効果を高める工夫をして、出展する。

2. 水なし印刷に関する技術、経営情報の共有化及び会員相互の交流の深化。

セミナー、工場見学会、交流会を、各地で開催し、地方からでも、現場の方でも参加しやすいよう形態とする。

3. 継続事業

(1) カーボンオフセット事業

カーボンオフセット事業は、今期も積極的に推進しつつ、新規の参加者を募集するとともに、取り扱う地産地消クレジットの種類を増やす。今期に入り、岡山市が創出した地産地消クレジットの取り扱いを開始した。

カーボンオフセット事業は、総会時点(6月16日)での総オフセット量が 4980 トンであり、間もなく、5000 トンに到達する。この実績について、広く知らしめることにより、日本 WPA に対する理解を深める計画である。

(2) VOC 計測事業

会員の VOC 削減活動の助けとなっており、継続する。

(3) CFP 事業は、個品別認証制度のもとで継続する。

(4) 日本 WPA の AR アプリの公開は中止する。

4. その他の活動

(1) 理事会会報の送付

定例理事会を 2 ヶ月ごと(偶数月)に開催しており、理事会での決定事項や連絡事項を会員各社個別に会報として送付中。

(2) 日本 WPA からの情報発信

会員及び関係先また、今まで接触のあった方々に、日本 WPA のブログの案内や、水なし印刷に関するなどの情報を個別に送付中。

以上